



WE, JOKERS

英語のジョークを楽しむ会会報

No.21 August 10, 2010

- ジョークの心得三か条: 1. ジョークは心のゆとりであり、人生の潤滑油です。
2. ジョークで言語の壁に挑むのは知的快感です。
3. ジョークは簡潔が至上です。

ジョークと私

スタンドアップ・コメディ体験記：シドニー編

安藤 雅彦



コロンブスは 1492 年にアメリカ大陸を発見し、僕は 2009 年に stand-up comedy を「発見」した。花岡さんの発表、「Stand-up comedy の研究」、のおかげ。Richard Pryor の DVD を見せてもらって、花岡さんの解説を聞いて、

初めて具体的に stand-up comedy というものをイメージできた。「英語で遊ぶ」をテーマにしているのに、それまで英語国へ行っても、全く視野に入っていなかったのだから、僕としては不覚であった。花岡さんに「挑発」されて、今年 2 月、シドニー訪問の折に、できればライブを見たいと思ったわけ。

幸運にも、街をぶらついていて、The Laughing Garage という Comedy Club をたまたま発見。このクラブは 2001 年にオープンし、3 人のコメディアンがオーナーで、かれらが運営している。詳細は <http://www.thelaughgarage.com/> 参照。

ハイドパーク（ロンドンの同名の公園よりは小さい）の西側を南北に走るエリザベス通りと東西に走るパーク通りの交差点の北西の角にある、東京でいうと銀座 4 丁目の交差点より徒歩 5 分くらいの好立地で、僕たちの宿泊場所より徒歩 10 分で至便。

夕方に開店し、ショーは 8 時半～10 時半（日・月は休み）。バーで入場料を払い、好きな飲み物を買って、自分でホールに持ち込むセルフサービス。入場料は僕と妻（彼女の関心度は「まあ付き合ってるか」レベル）が行った金曜日（2010 年 2 月 12 日）がひとり 27 ドルで一番高い。飲み物はリーズナブルで、一杯 5～6 ドル（当時のレートは現金 1 ドル＝現金 90 円程度）。当日は夕方よりかなりの荒天にもかかわらず、客席は 9 割が埋まって 100 人くらい。女性の方がやや多い感じ。

オーナーでもある Darren Sanders（濃い顔で、この業界では？イケメン）が司会で、彼を含めて 5 人のコメディアンが出演した。司会以外は市内

のいくつかのクラブを掛け持ちしているようだ。

肝心の僕の理解度は、出演者により 10%～30%（これでも見栄を張って多めに言っている）。ホームページに Show may contain Adult Themes, Sexual References and Adult Language とあるが、“may”なんて生易しいもんじゃなく、相原さんも負けそうな艶物系のオンパレード。きわどいジョークに大笑いする若い女性客に、彼我の文化の差を感じましたネエ。

出演者がけっこう客をイジリ、客席とのやりとりが多い。中年の女性客が舞台に上げられ、なにか話を披露し、みんなで盛り上がっていた。けど僕たち二人は残念ながら取り残されていた。

最後に登場したのが、真打とおぼしき、ジョージなんとかさんと、彼は他の人の 2 倍以上長くしゃべった。僕にも解ったのは、かの有名なオーストラリア・ジョークのバージョンで、彼の父親がキューバからこの地へやって来たときの話：

When it's my father's turn to get his passport stamped, the customs officer starts asking the usual questions:

C.O. : How long do you intend to stay?

Father : 1 week.

C.O. : What is the nature of this trip?

Father : Business.

C.O. : Do you have any criminal record?

Father : I didn't know we still needed to!

さらにジョージの友人である医者への告白。「患者とセックスしてしまった。なんということをして！けど落ち着け、これは同意した大人と大人の行為なので、問題はないはずだ。だが待てよ、俺は獣医なんだ」。

翌日 Strand Arcade の大型店舗 JB HI-FI へ。いろいろあって迷ったが、The Laughing Garage にも出演したことのある Akmal（エジプト生まれのアラブ系オーストラリア人）の DVD を 30 ドルで買った。以外なことにサブタイトルが無かったが、まあまあ楽しめた。

第 21 回研究発表会

Headline Jokes Part II

～ジャーナリズムのみだしなみ～

草野 淳

Yes He Kan (Newsweek '10/6/28～7/5 合併号)
After Hatoyama Kan he do it? (Economist
'10/6/5 号) いずれも菅首相の登場を標的にした
見出しのひねりである。オバマ米大統領の口癖
“Yes we can.”にあやかっただけのものだ。Headline
Jokes の Part II 発表の日を待つ間にも、英語メ
ディアには続々と新作が現れ気忙しい。今回は、
映画のタイトルやCMの文句を下敷きにしてひね
りを効かせたものを主に拾い集めてみた。

Guess who wasn't coming to dinner? (Econo
mist '01/11/10 号) という見出し。付けられた漫画



には、当時の英独仏 3 強
国主脳の前顔絵が描かれ
ていて、テーブルの下から
見落とされそうに小さく
顔をのぞかせているのは
欧州弱小国イタリア、ス
ペインのリーダーらしき人物。国際政治で弱者が疎
外されるのは常なる事の皮肉だろう。が、そこま
での解釈では、この見出しの味はもうひとつピン
と来ない。そう、あの往年の名画「Guess who's
coming to dinner?」（「招かれざる客」）に瞬時に反
応しないことには。

シベリアの町の川が大雨で氾濫した写真には、
映画の題名そのままに A RIVER RUNS THROUGH
IT (International Herald Tribune '01/5/15)。

黒人差別の根強い米南部ミシシッピ州の社会再
生の行方を取り上げた記事には Mississippi
turning (Economist '07/1/6 号)。過激な白人優越
主義者たちによる黒人差別の実話を映画化した
「Mississippi burning」に語呂を合わせている。

ポスト冷戦が本格化しブッシュがロシアに飛ん
でプーチンと会談した時の Economist '02/5/18 号
の表紙には、でかでかと To Russia for love. 007
映画「From Russia with love」を使った遊び心。

下ネタで抱腹絶倒のコメディ映画「There's
something about Mary」（「メリーに首ったけ」）を
借用、Mary を音の似ている Scary (怖いもの) に言

い換えただけの見出しで、ハリウッド界にひとし
きりホラーものブームが起きた事情を紹介した記
事 (TIME '02/1/11 号) もあった。

経済学者サムエルソン博士の訃報には、世界不
況救世主への願いをこめるかのように Play it
again, Samuelson. (Economist '97/8/23 号)。思い
出しませんか? 映画「カサブランカ」の酒場
での名せりふ “Play it again, Sam” を。

高級時計オメガのCMで絶妙なセンスを効かせ
たのが、自転車に上手に乗れるようになった子供
が母親の前で得意になって両手を離し Look Ma,
no hands. (ママ見てて、ノーハンドルだよ!) のお決ま
りの文句。Hands (時計の長針、短針) の無い文字
盤のオメガだから、こりゃあ参ったな、と舌を巻
いたが、それをもじって、L.A. discovery: Look Ma,
no wheels (International Herald Tribune '04/9/3)。
車の街ロサンゼルスだが、地下鉄をうまく乗り継
いで行けば結構便利に見て回れるから、「車無し
(no wheels) でも大丈夫さ」という見出し文句で
旅の情報を紹介したのだった。

ジャズの街ニューオーリンズがハリケーン・カ
トリーナですっかり荒廃し、ミュージシャンたち
も働き場を失ってよその街へ去って行ったことを、
When the saints go marchin' out と、ちょっと洒
落て嘆いた記事 (Economist '07/6/30 号) も。

ジーンズの Calvin Klein が女優ブルック・シ
ールズをモデルにひと頃流行らせたテレビCMの艶
っぽいせりふ “You wanna know what comes
between me and my Calvin? ... Nothing.” (私と、
このはいているジーンズとの間に、何かあるかって? …何
もないわ。つまり、彼女はノーパンっていうこと)。そこ
で後年、Calvin Klein 夫婦の不仲が伝えられると、
そのゴシップ記事の見出しは、この粋なせりふを
ひとひねりして Something comes between her
and her Calvin: A split (彼女と夫との間に何が?
別居中) (N.Y. Post '96/8/13) と見事な逆手技。

“Headline writers are language's Great
Compressors” (見出しライターは、言葉の偉大なる圧縮
者) とは、New York Times の長期連載コラム On
Language (言葉について) の筆者だった故 William
Safire 氏 ('09/9/27 死去 79 歳) の定義である。

ヘッドラインにはスペースの節約とわかりやす
さのため、できるだけ短い語 (例: consider より
mull, promise より vow, prohibit より ban, ...) が好まれる。
でも僕に言わせれば、“Headline
writers are also language's Great Jokers” と、ぜ
ひとも付記しておきたい心境である。

第 21 回研究発表会

可笑しな事を真面目に語る

—第 22 届国際幽默研究學會大會に参加して—

長谷川真弓

7月17日、今年の国際ユーモア学会（6月24日から27日、香港市大）に出席した宮本会長、植田、長谷川（幹）、長谷川（真）会員による報告が行われた。和やかな雰囲気終始できたのは、Confrontation を即座に救う才能の安藤会員の司会による。



〈写真＝向かって左から、長谷川幹夫、植田良明、宮本倫好、長谷川真弓の各会員。〉

最初に植田会員よりユーモア学会の概要説明。本部はカリフォルニア州オークランド。ユーモアを社会学、医学、心理学、教育、美術、文学などあらゆる切り口からとらえる。大会開催はアメリカとその他の国が交互に。ちなみに2011年はボストン、2012年はポーランド。今年は23か国、143名の参加。日本からは我々を含めて16名。研究発表数は117で、4つのPlenary session以外は同時進行の分科会のため各自が選択する。

次に内容の一部を紹介。外国人の日本との対比発表も幾つかあったが、とんでもない日本人像が登場することも。ある豪州人は「日本の国会テレビ中継が実現した時、国民は議員が皆居眠りをしているのに驚愕した。しかし、権威に対する尊敬の念から、新聞報道は一切なし。欧米なら当然起こる街頭デモも全くなかった」と紹介した。違いを強調すればするほど面白さは増すが、実像からは益々乖離する一。民族ジョークの公式だが、日本の場合、この傾向は助長される。（宮本）

香港市大のリタ高橋先生の「Meiji Train Pas-

sengers」は文明開化事象をユーモアとしてとらえたもの。当時の列車にトイレが無かったので窓から“銀の雨”を降らせ10円の罰金。おならは5円。小用にビンの持参もあったとか。当時の巡査の月給は5円。ご参考までに。（植田）

ポーランドのブロゾワスカ先生による「日本人ジョークのステレオタイプ」。Judo、Karate、Harakiri、などが登場し、MikadoとKaraokeが同カテゴリーに。日本文化を分かる人間にはユーモアとなるが、そうでない人間にとっては恐ろしい誤解を招くという印象を受ける。（植田）

台湾大学のWestbrook先生のシェイクスピアのユーモア。コメディ以外の歴史劇などに登場するFalstaffの面白さの源流を人間の持つスーパーエゴ（フロイト）とする。自己の欠点（じじい、大食らい、でぶ）ですら相手とともに笑い飛ばしてしまう彼の類まれなユーモア力が、後の『ウィンザーの陽気な女房達』につながる。（長谷川幹）

香港市大の岳先生による「中国のユーモア療法の歴史」では、2000年前に既に「笑林」というユーモア本があり、150 ADには中国医学の祖『黄帝内経』が編まれ、この中で『喜勝憂』が強調され、戯虐（Comic）、滑稽（Clown show）、荒謬（Ridicule）、冲喜（Happy event）の4つのユーモア療法が存在したという。現在この伝統療法が脚光を浴びているという。（長谷川真）

ベルリン自由大のワインガートナー先生の、「日本の笑いのフィクションとリアリティ」は関西大学留学時代の体験を踏まえた密度の高い分析。フィクションとリアリティの絶妙なコンビネーションで日本の笑いが形成されると結論。（長谷川真）

それでは皆様 See you in Boston next year!!

どうぞよろしく＝新入会員自己紹介＝

笠井 進 さん（埼玉県越谷市）

① 私にとってジョークとは：

ジョークは、一瞬で場の雰囲気を和やかにするマジックパワーを持つ。

② 私のお気に入りのジョーク：

A: Is there a God ?

B: God only knows.

女性はジョークが不得手？ (下)

宮本倫好

先日、香港で行われた国際ユーモア学会世界大会では、参加者も発表者も女性が多く、女性はジョークが不得手なのでは、という私の仮説も、少なくとも先進的な世界のジョーク愛好者の間では杞憂だと思いました。

女性が旧来のジョークを好まなかった理由の一つは、女性蔑視観によるお色気ジョークが多かったからですが、解放女性は主人公をどしどし入れ替えて積極的に攻めます。以下求人担当者と応募者のやり取りですが、(1)は女性蔑視時代のもので男性2人の会話。(2)はその新版で、女性同士のやりとり。

(1) “Where are you from, son?” asked the manager. The boy replied, “From Minnesota, sir.” “Oh really? Why did you leave Minnesota?” asked the manager. The boy replied, “They’re just whores and hockey players up there.” “Is that right?” said the manager, “My wife is from Minnesota.” The boy replied, “No kidding...What team did she play for?”

(2) Female manager: “Where are you from, Hon?” The girl replied, “San Francisco, Ma’am.” “Oh, really? Why did you leave San Francisco?” asked the manager. The girl replied, “All the men there are either hairdressers or hung like hamsters.” “Is that right?” said the manager, “My husband is from San Francisco.” The girl replied, “No kidding...What does he charge for highlights?”

(1)では「売春婦かホッケー選手ばかり」といったのですが、「家内がミネソタ出身」といわれ、とっさに「ホッケーはどのチーム？」と逆質問でかわしたところがミソで、(2)でも男女入れ替えて同じ手口です。hung like hamsters は、below average-sized penis の俗語。最後の highlights は、「髪の一部を明るく染めること」をいいます。

魔法で蛙にされた王子様が王女様を口説き「元の姿に戻ったらきっと結婚して。ボクのために食事を作ったり、洗濯したりしてくれて、幸せな家庭を作ろう」という童話も、女権時代の新版の結末ではこうなります。

That night, the princess dined on *the frog legs*, she kept laughing and saying, “I don’t think so.”

要するに、「女性蔑視のジョークはけしからん」と怒る前に、女性側が積極的に笑いを作り、男性をコケにして笑い飛ばせ、ということです。

これでメダタシ、メダタシ。

第22回研究発表会のご案内

会員各位のご参加をお待ちします。まだ会員になっておられない方もどうぞ。

- 日時：9月18日(土) 午後2時-4時
- 会場：平河町 Mercury Room
(クオリティ(株) 6階会議室)
(東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル)
- 交通：地下鉄・有楽町線麴町駅1番出口より徒歩2分。地図⇒<http://www.quality.co.jp/>
- プログラム
 - ① 「国際会議で見た、聞いた、言った…
—ジョークと文化交流の難しさ—」(仮題)
研究発表=服部陽一 会員
 - ② 第6回ジョーク・コンテスト
司会=花岡 蔚 会員
- 参加費：会員・非会員とも500円。
- 問合せ先：renraku@eigojoker.com

第6回ジョーク・コンテスト出題作品募集

- 要領：
 1. 出題は、お一人二題までとします。
 2. 今回も、短いもの(15 WORDS以内)に限定します。(評決が同点となった場合には、短いものを上位とします。)
 3. 必要と思われる場合には、「笑いのツボ」を付記してください。
 4. 当日出席できない方も、応募できます。
 5. 結果は、*We, Jokers* No.22 Joke Contest Supplement 紙上でも発表されます。
- 宛先：mmsagawa403@s6.dion.ne.jp
- 締め切り：8月31日(火)

WE, JOKERS 英語のジョークを楽しむ会報 第21号

発行日：2010年8月10日

発行人：世話人代表 宮本倫好

編集人：佐川光徳

発行所：英語のジョークを楽しむ会

〒102-0093 東京都千代田区平河町1-4-5 平和第一ビル

クオリティ株式会社 気付

TEL:03-5275-6121, FAX:03-5275-6130

問合せ先：renraku@eigojoker.com

